

タウンミーティングでの意見一覧（2026年5月23日（土）、北地区）

NO.	ご意見等	回答担当課	回答
1	生駒市農業ビジョンについて、特に高齢農家の担い手不足や休耕田、耕作放棄地問題に関する市長や行政の評価をお聞きしたいです。	農林課	農業の担い手の高齢化や鳥獣被害等による営農意欲の低下等に起因し、遊休農地(耕作放棄地)が増加しつつある中、本市では市民農園、遊休農地活用事業、いこまファーマーズスクール等を通じて新たな農業の担い手の発掘、養成や農地の斡旋を通じて農業を担う人材の確保や育成、農地保全等に努めているところです。その中でも農業以外の仕事をしながら農業を始めたい人（半農半X）、自給農や農業に本格的に取り組みたい人向けに開講しているいこまファーマーズスクールは、毎年多数の応募があり「農」に関心を持つ市民が増えています。このような市民が今後新たな農業の担い手として就農等へ繋がるよう、本市の持続可能な農業の実現に向けて進めてまいります。
2	土着の住民と新たに入ってきた住民との入り交じりが弱いような気がします。何か取り組みはされていますか？	地域コミュニティ推進課	すでに各自治会等では、新旧の住民が一緒に取り組んでいただけるような事業を行って頂いているものと思います。本市では、身近な拠点にあらゆる世代が集い地域交流の場を創出する複合型コミュニティ「まちのえき」事業をはじめ、市民が関心やテーマを入口として地域と関わることができる仕組みとして新しいコミュニティづくりを計画しています。
5	昨年の防災宿泊訓練の時に実施されたQRを使った受付システムは、各自治会や自主防災会でも利用できるのでしょうか。また、そのような情報は自主防災会等に案内いただいているのでしょうか？自主防災訓練の実施にあたり、新しい情報を積極的に発信してほしいです。	危機管理課	単独の地域訓練でもできるように、各自治会や自主防災会でも利用は可能です。令和8年度の自主防災会の全体会議において、「防災訓練メニュー」にも掲載し案内しております。市ホームページの「自主防災会」にも「防災訓練メニュー」の1つとして掲載しております。 ○自主防災会のURL https://www.city.ikoma.lg.jp/0000000915.html

6	新しい働き方を増やすとありこの様な取り組みも非常に有益であると思いますが、現状地域で商店をしている方にも支援を行い地域から無くならない様な取り組みも必要と思いますが、いかがお考えですか？ぴっくり通りだけでなく	商工観光課	現在、市では地域の商店を含む中小企業・小規模事業者の皆さまに向けて、次のような支援を行っています。まず、働く方の賃金を上げる取り組みへの支援です。人手不足が深刻な中、賃上げを実現した事業者の皆さまを市としてバックアップしています。次に、専門家が直接お店に訪問し、経営の悩みを一緒に解決する取り組みです。後継者問題や売上低下など、それぞれのお店が抱える個別の課題に寄り添ってサポートします。また、人材の採用や従業員の育成に必要な費用への補助も行っています。お店を続けていくうえで欠かせない「人」の面からも支えています。さらに、地域課題に沿った新しいことに挑戦したい商店主の方が融資を受けた際に補助金を支給する仕組み（ローカル1万プロジェクト）も設けています。ぴっくり通りにかぎらず、市内各地域の商店が今後も地域の皆さんの暮らしを支え続けられるよう、これらの施策を多くの方に活用していただけるよう努めてまいります。
8	PTAの取組について、違和感を覚えています。本来行政がやるべきではないかという取組をPTAが担っているケースがあると感じており（例えば公立学校の遊具修繕等）、行政対応とのすみ分けを検討できないでしょうか。行政の関わりによりPTAの役割を絞ることができれば、保護者がよりPTA活動に参画しやすくなるように感じます。	生涯学習課	PTA活動については、それぞれの学校のPTAで、子どもたちの健全な育成のため必要だと考えられることに取り組んでおられ、学校ごとに活動内容が異なっていると認識しています。違和感があると感じておられる取り組みについても、各校PTAが必要だと考え、学校との共通理解のうえ取り組みられていることから、その判断について、市(行政)が関与することは難しいと考えています。 PTAの中で、活動内容をご検討いただきますようお願いします。
9	新しい取り組みもすばらしいが現在の市民がボランティアでされてる（スポーツ団体や市民団体）は予算もかからずコミュニティをしていただいてますのでそれを守るべき。また緑を守ることが生駒ブランドだと思うので生駒の魅力を残して、さらに景観豊かになれば市民の方が景色を発信していただきたい	地域コミュニティ推進課 みどり公園課 都市づくり推進課	・多様な主体との協創によるまちづくりを掲げている本市にとって、様々な分野で活動されているボランティアの方々に関しまして大変有難く思っています。今後もボランティアの方々がさらにご活躍できるような機会の創出、支援を行っていきます。 ・様々な法規制により保全を図るとともに、景観形成等都市環境の向上を目指します。また、現在多くの市民の方々が自主的に、地域の緑化や里山整備の活動をされており、引き続き連携・支援にとりくみます。
10	せめて大きな公園を作ってもらいたい。けいはんな公園も市民から反対があり、生物を守るために作られました。	みどり公園課	既存市街地に新たに用地を確保し公園を作る計画はありませんが、学研高山地区第2工区のまちづくりの中で、施行者により公園が設置される予定です。
11	スポーツ推進のためにもグラウンドが総合公園無くなるので、その代替えをしっかりと考えてもらいたい。	スポーツ振興課	市内のグラウンドと野球場につきましては、生駒市体育協会高山S.C.グラウンドや野球場の開設、イモ山公園グラウンドの夜間照明設備の設置など、平成26年度以降のここ十数年間で充実を図ってまいりました。また、学校体育施設開放事業の使用ルールの見直しなど、こちらは運動場と体育館になりますが、市民のスポーツ環境の整備を進めています。今後は、健民グラウンドや井出山グラウンドなど冬期の夜間使用を開設していない施設の冬期開放についても進めていきたいと考えています。

12	ボランティアで教えられている財政やサッカーチームに負担が急に増え、今後スポーツ推進に陰りがある。スポーツを推進の逆になり、今後、野球選手などは生駒からでなくなると考えられます。スポーツ団体やその家族が悲しんでいます。有料化てっかいもしくは補助金制度で至急対応してほしいです	スポーツ振興課	市民の皆様が主体的に取り組むスポーツ活動は、子どもたちの健全育成はもとより、生涯にわたる健康づくりや、地域コミュニティの活性化に不可欠なものであり、学校体育施設開放事業の重要な目的の一つであるため、本事業を今後も安定的に継続していくために、慎重な検討のうえで使用料を設定させていただきました。 事業の実施にあたっては、使用に係る申請や調整、使用団体の把握、問い合わせ対応、鍵の受け渡しなど、本来学校教員が担うべきではない業務を、学校教員の善意により賄っていました。学校体育施設開放事業は、学校教育ではなく、社会教育として、学校教育の施設をお貸しいただいて実施しているものです。よって、申請等の事務については、学校を通さずに行う必要があり、そのために、申請や鍵のデジタル化といった新たな運営システムを導入し、窓口を外部に設け、問い合わせ対応や、使用調整、申請の受付等への対応にあたる必要があります。今回の学校体育施設開放事業の使用料の設定は、事業の「受益と負担」の公平性、および「事業の持続可能性」を確保するための制度であるためご理解いただきますようお願いいたします。
13	学校の防犯体制に不安。地域に開かれた学校、との視点での回答を以前伺ったこともあるが、もう少し防犯については切り離して考える必要があるのではないか。何か事が起きてから、この体制では十分な対策を講じていたとは言えないと感じている。市長に上記について回答いただきました。地域の方とのかかわりとのバランスもあるかと感じますし、ご説明いただいたように学校側の物理的な構造上の問題もあるかと思う。たとえば正門に誰かがいる、門が締まっているというだけでも抑止力につながるといった面があるように感じる。予算の兼ね合いなど難しい点が多々あるかと思いますができるだけ進めていただけるとありがたい。本当に何かが起きる前に何卒よろしくお願いします。	教育総務課	学校ごとの状況に合わせながら、必要な対策について検討を進めてまいります。また、地域に開かれた学校としての役割とのバランスも踏まえながら、各学校の実情に応じた安全対策の充実に取り組んでまいります。

14	リサイクル食器の件です。はばたきの1階ロビーに出すのですがその処理はどうなってるんですか。前は時を決めてはばたきでリサイクル食器の持ち帰り日があったのですが、人員もいるし、大変だけど、ボランティアの方が頑張っていてましたよね。人がなのなら各自自由に食器持ち帰ってもいいようにしてください。それ禁止されててもったいない！！まさか処分（割って捨ててるとか？）してないでしょうね。十分使えてすてきな一杯あるんですよ。是非出品された食器自由に持ち帰れるように開放指示してください。心待ちにしています。物価も高く食器も買えませんので、どうかよろしく簡単な指示です。	環境保全課	回収された食器については、はばたき1階ロビーでお預かりした後、清掃リレーセンターへ搬送し、割れや欠けの有無などを確認したうえで、リユース可能なものとリサイクル処理するものに選別しております。 リユース可能な食器については、毎月第3水曜日にディアーズコープいこまで開催している「もったいない食器市」や、各種イベントにおいて市民の皆様へ提供しております。ご提案いただきました自由に持ち帰る方式につきましては、過去にエコパーク21や清掃リレーセンターで実施していた時期がありましたが、一部の方による転売目的とみられる大量の持ち帰りやいたずら行為が見られたほか、割れた食器の混入による怪我の危険性もあったことから、現在は安全面や公平性を考慮し、職員等が対応する対面方式で実施しております。 いただいたご意見を参考に、より多くの方にリユース食器を活用していただけるよう、はばたきでの食器市の開催などについても検討してまいります。また、現在はディアーズコープいこまだけでなく、自治会等が主体となって集会所や公園等を活用して行っているコミュニティづくり「まちのえき」事業の一部においても実施しており、活用できる場所や機会は徐々に広がっております。今後も地域の皆さまに気軽にご利用いただける仕組みづくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
15	スポーツ少年たちの運動場利用負担があるので、運動場利用を無料に戻すか、何か支援補助金などをしてほしい。	スポーツ振興課	市民の皆様が主体的に取り組むスポーツ活動は、子どもたちの健全育成はもとより、生涯にわたる健康づくりや、地域コミュニティの活性化に不可欠なものであり、学校体育施設開放事業の重要な目的の一つであるため、本事業を今後も安定的に継続していくために、慎重な検討のうえで使用料を設定させていただきました。 事業の実施にあたっては、使用に係る申請や調整、使用団体の把握、問い合わせ対応、鍵の受け渡しなど、本来学校教員が担うべきではない業務を、学校教員の善意により賄っていました。学校体育施設開放事業は、学校教育ではなく、社会教育として、学校教育の施設をお貸しいただいて実施しているものです。よって、申請等の事務については、学校を通さずに行う必要があり、そのために、申請や鍵のデジタル化といった新たな運営システムを導入し、窓口を外部に設け、問い合わせ対応や、使用調整、申請の受付等への対応にあたる必要があります。今回の学校体育施設開放事業の使用料の設定は、事業の「受益と負担」の公平性、および「事業の持続可能性」を確保するための制度であるためご理解いただきますようお願いいたします。
16	育休退園制度の廃止を検討してほしいです。（上の子が満1歳になるタイミングでの退園の撤廃など）	幼保こども園課	保育所は保育の必要性に基づき入所いただいています。育休中のご家庭については、家庭での保育が可能であるという前提となりますが、第1子が在園中に第2子が生まれた場合、第2子が1歳になる月に復職されることを前提に入所申込いただくことで在園いただけるようにしているものです。入所申込をしていただき、入所選考の結果、入所できなかった場合については、引き続き入所の申込を継続することで、2歳となる月末まで在園することができます。 引き続き適切な保育サービスの提供に努めます。

17	学校の安全管理が気になりました。	教育総務課	学校ごとの状況に合わせながら、必要な対策について検討を進めてまいります。また、地域に開かれた学校としての役割とのバランスも踏まえながら、各学校の実情に応じた安全対策の充実に取り組んでまいります。
18	高山町に住んでバスを利用しているがほとんど乗ってる人がいない。廃路線になる可能性が高い。乗合制度などの検討を進めてほしい。	防犯交通対策課	高山町のバス路線については、運行する奈良交通㈱から過去に廃止の提案がありましたが、令和7年10月に路線を見直し、国の補助金等も活用しながら運行を継続しています。他の交通手段への転換は沿線地域への影響が大きいため、検討を慎重に進めたいと思います。
19	高山第2工区の開発は南エリアに限っても慎重に行ってほしいと思います。サシバをはじめ、生物多様性があり以前の田畑を復活させればコンクリートで埋めてしまうより多くの生き物や市民が幸せになると思うからです。自然環境保全協会奈良の一員として昨日も自然観察会を行いました。生駒市の南に住む子どもたちが元気よく走り回り目を輝かせて昆虫採集し水辺で遊んでいました。またいつもハンノキの林は美しいですが心癒されます。あの谷を埋めてしまうと、鹿ノ台の住民にも悪影響しかないと思いますし、私の住む北大和住民にとっても交通事情や景観の悪化、空気の汚染等、元々私達の望んでいたここならではの価値が損なわれるだけだと思います。また6割近くは生駒市の土地のようですので市民の声をしっかりと聞いて未来の生駒市民に何を残すべきか考えて進めてほしいと思います。	学研推進課	学研高山地区は、関西文化学術研究都市建設促進法に基づき実施される国家プロジェクトとして、文化、学術及び研究の中心となるべき都市を建設し、我が国及び世界の文化等の発展並びに国民経済の発達に資することを目的とする地区のひとつに位置づけられています。 また、奈良県が定めた建設計画や将来のまちづくりの方向性を示す生駒市都市計画マスタープランにおいても、産業・学術研究拠点として位置付け、産業振興と雇用の創出につながる産業機能や高度な学術・研究・業務機能の集積、持続的な技術革新を牽引する居住実験都市の実現、イノベーション中枢機能の構築など、次世代を見据えた拠点形成を図る地区と位置付けております。住宅都市として発展してきた本市の今後の持続性を考慮すると、学術研究・産業機能の充実など、都市活力を創造していくことが必要となります。 ただし、単なる開発ではなく、学研高山地区第2工区全体土地利用計画にも位置付けているとおり、南エリアは「都市的土地利用ゾーン」、北エリアを「自然的土地利用ゾーン」とするなど、「都市と自然が共生」する都市の形成を目指していく計画としております。
20	発表でも述べられていましたように、生駒の魅力の1つは「自然環境」である点、市民も行政も一致していました。それなのに、自然環境を減らす今の行政の動きには矛盾があります。アフリカのセレンゲティに匹敵すると言っても過言ではないほどの里山の動植物環境を、住宅地や工業用地に利用するのは、理解しづらいです。もっと継続的に、利益を生む利用方法について知恵を絞って行っていただきたいと考えています。	みどり公園課 学研推進課	多様な主体の自主的な里山保全活動に対し支援を行うほか、市有緑地の保全整備において生物多様性を考慮した整備を行うなど、緑の質を高める維持管理を行っています。 なお、学研高山地区第2工区のまちづくりについては、管理No. 38の回答のとおりです。

21	スポーツ青少年団体はボランティアでなりたっているので補助金など支援してほしい。	スポーツ振興課	スポーツ少年団や地域のスポーツクラブなど、青少年の健全育成に取り組まれている皆様には、日頃から多大なご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。 ご指摘のとおり、多くの団体は指導者や保護者の皆様のボランティア活動によって支えられており、少子化や物価高騰などが団体運営の課題となっていることは理解いたします。 現在、市としましては、市民の皆様に安全で安心してスポーツ活動を行っていただけるよう施設の整備や、誰もが気軽にスポーツにふれあっていただけるきっかけづくり、また、スポーツに夢や憧れをいただけるようにアスリートを招へいしたスポーツ教室の開催などの環境整備を行っております。 地域のスポーツ団体様におかれましては、持続可能な団体運営となるよう、運営に必要な適正な会費設定や賛助会員制度の導入など、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
22	生駒駅の南側。駅前の車対策。車で駅前に行きたいニーズがあるので、ロータリーの使い方など、もっと検討出来ないか？いなもり前の締め出しはニーズに逆行してると思います	防犯交通対策課 都市づくり推進課	ご指摘の道路につきましては、道路交通法上、駐車禁止の区域となっています。そのため、本市では人の送り迎えや買い物の際は、市営自動車駐車場（入場から30分以内無料）を活用してもらうようお願いしています。 また、路上駐停車に対しては、道路通行上危険であるという意見があります。一方、一般車乗降場のニーズがあることを市としても把握していることから、今後、駅利用者や道路管理者・公共交通事業者・警察等と協議しながら、駅前ロータリー再整備に向けた検討をすすめていきます。